

平成28年9月23日

土木部都市計画課 (担当) 山、中田 (直通) 076-225-1758 (県庁内線) 5210

交通実験が9月26日(月)よりスタート

これまで、県と金沢市では、公共交通の利便性向上を図るため、様々な交通実験を実施してきました。今年度は、交通混雑している武蔵地区において、タクシーベイを移設し、バス滞留スペースを拡大する取組を9月26日(月)より実施します。また、バス専用レーンの遵守を促す看板を設置するなどの取組も行うこととしています。

1. 武蔵地区めいてつエムザ前タクシーベイ移設実験

① 目的

- ・ 都心軸における公共交通の速達性及び定時性の向上
- ・ マイカーから公共交通への転換による交通円滑化

② 実施概要

- ・ バス滞留スペースが十分に確保できないこと等から、バス停を先頭に交通混雑が発生しており、タクシーベイを武蔵交差点側に約30m移設し、バス滞留スペースを拡大する(3台分→5台分)

③ 実施期間

- ・ 平成28年9月26日(月)～平成28年10月20日(木) (25日間)

④ 調査内容

- ・ 渋滞長調査、走行速度調査(バス・自動車)
- ・ タクシー利用実態調査
- ・ バス・タクシー及び一般ドライバーへのアンケート調査 など

2. バス専用レーン遵守率向上対策

① 実施内容

- ・ バス専用レーン遵守率調査
- ・ バス・タクシー及び一般ドライバーへのアンケート調査
- ・ 指導員の配置、看板の設置等

② 実施期間

- ・ 対策実施：平成28年10月末以降(予定)

③ 実施区間

- ・ 国道157号 武蔵交差点～犀川大橋北詰

3. 実施主体

交通実験実施協議会(事務局：石川県、金沢市)